



あっぷれす

発行：弘前大学生協本部
 〒036-8224 弘前市文京町1番地
 Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
 2023年7月18日 第156号

1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生生活協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.156

組合員活動の時間

開催日時：5月26日(金) 19:00~20:30(総代会中)
 場 所：大学会館3階大集会室

今年度の組合員活動ではSDGsゴール12「つくる責任つかう責任」を主軸として身近なゴミ問題を取り上げました。今回はただゴミ問題について考えるだけでなく、エシカル消費の視点も加えることで、消費側の組合員と提供側の生協が互いにより良い社会の形を目指して意見交流を行うことをねらいとしました。



各班で出た意見(抜粋)

- 普段行っていること
 - ・ 分別をしっかり行う
 - ・ 手前取りをする
- 個人でできること、したいこと
 - ・ デPOSIT容器を捨てない
 - ・ ラベルレスボトルを買う
 - ・ 地産地消
- 生協でできること、やってほしいこと
 - ・ デPOSIT容器の回収方法の変更
 - ・ マイボトル対応の給水器を設置する
 - ・ リサイクルコーナー(ショップ)をつくる
 - ・ エシカル消費ポイントの導入
 - ・ 一人暮らし用に食パンの1、2枚入りの販売



当日には様々な意見が寄せられました。この意見を生協や学生委員会で検討して実行できるように尽力していきます。また、消費者である私たちは環境保護のためにどんなに小さなことでも無理なくコツコツと行っていくこと、気になったことは自分から調べていくことが大切だと思います。

生協学生委員会 人文社会科学部3年 中村優翔

第62回通常総代会 意見・要望について

今回掲載しているのは抜粋です。全意見・要望等は弘前大学生協ホームページ>WEB版あっぷれす>総代会ページに掲載しています。ご一読ください。

意見・要望	生協からの回答
学生へのサポート内容について、大学生協アプリに様々な機能を集約できるようにすると良いと感じた。(現在でも十分多くの機能があるが、何が出来るかの説明や仕様の説明、全体の教科書購入なども授業を選ぶだけで教科書が注文できるようにするなど)	要望ありがとうございます。より便利に活用いただけるよう、開発部署へ引き続き声を届けます。
実家通いで食堂を利用することがほとんど無い人や、1人では食堂に入るのをためらってしまうといった学生向けの施策等が何かあれば良いと感じます。資料を拝見した限り、参加者が普段から食堂を利用しているという前提ありきのように感じてしまったため、上記の施策があれば利用者数の底上げにつながるかと考えます。	学生数に比べるとまだまだ利用したことがない方が多いと考えています。スコラムは一人で入りやすいとの声を耳にしますので、入学時に「スコラム無料カレー券」を配布する等の取り組みをしていますが、さらなる施策も考えていきます。
書籍販売について マンガや公務員などの対策本が多く、学術書が少ないことを改善していただけないかと思っています。高等教育機関に設置された書籍販売店としてはさみしいと感じています。現状では、なんとなく手に取って購入するなどは、別の書籍店の方がいいと学生に言わざるをえません。ご検討頂ければ幸いです。	私も書籍担当だったので、大学生協に学術書がないのはさみしいです。以前は現在の倍以上取り扱っていましたが、年間通してのご利用は、教科書、一部の基礎参考書、定番の学術書に限られるため、大幅に構成比の見直しを行いました。ただ、大学にある書店として学生の学業に寄与する書籍を展開することは役割としてもっともです。この間 SHAREA では、先生方に「学生に読んでほしい本」や学術書の紹介をいただき品揃えをしています。やはり専門である先生方から教えていただくことが、学生の学業に寄り添った品揃えには必要ですので、ぜひ先生方の「学生に読ませたい」を引き続き教えてください。

協議事項



第1号議案 第62回通常総代会 振り返り

第62回通常総代会の運営、組合員活動の時間、総代選出等についてグループごとに振り返りをしました。議案提案がわかりやすかった、組合員活動の時間は意見がたくさんでていたという意見がありました。一方で、組合員活動の時間は、グループの人数が多く意見がまとまりきらなかった、話せない学生もいたという意見や、SDGsをテーマに決めた理由の説明がなく残念だったという意見もありました。

いただいた意見を踏まえ、来年以降に生かしていくこととしました。

議決事項

第2号議案 稟議決裁基準

第3号議案 2023年度理事会運営方針

第2・3号議案については、全会一致で可決承認されました。

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。



【職員人事】 7月1日付

芹田美穂子 専務補佐、SHAREA店店長兼任

小村 晃 専務補佐の任を解く。本部経理店職員、Cerisier店店長兼任

三浦 貴司 専務補佐の任を解く。本部経理店職員、文京町食堂店店長兼任

大川 遼 本部経理店 主任 現：本部経理店 一般職

長谷川直紀 Sumica店 主任 現：Sumica店 一般職

柿本加奈子 SHAREA店 主任 現：SHAREA店 一般職

学生委員会新メンバー



学生委員会は理事会の下部組織となります。今年は37名が理事会の承認をうけ学生委員会に入りました。学生委員会は理事会で決定した方針を具体化するとともに組合員の声を基に、より良い大学生活のための企画を行います。

REPセッション#1 (総代の集会)

開催日時：6月6日(火) 18:30~20:00 場所：大学会館2階 Scorum

参加人数：62名(総代数：33名 学生委員会：23名 生協職員：6名)



開催目的

- ① 総代が組合員から集めてきた意見・要望を、生協職員・学生委員会に直接届ける場所を設ける。
- ② 総代・職員・学生委員会の三者間の隔たりをなくし、総代が生協に深く関わっている人々とより気軽に話せるようにして、総代活動を活性化させる。

今回のREPセッションでは先日行われた総代会の事後報告があり、対面参加できなかった参加者向けに提起を行いました。また、専務理事の上遠野より「弘前大学生協の取り組み」について話しました。弘大生協が60周年ということで生協の今までの取り組みや今後の目標などを確認する機会となりました。

その後は各生協店舗職員とともに生協店舗を利用しての感想や要望を伝える時間でした。各店舗での取り組みを確認しながら要望等を前向きに検討してもらうことで、総代の持つ意見が反映され生協全体の理念である組合員に寄り添った形で交流が進んでいました。今後はさらに総代の意見が届くように各店舗に焦点を当てた意見回収を行います。

生協学生委員会 教育学部2年 山田航平



自転車点検 (学生委員会)

開催日時：6月10日(土) 10:00~16:00 場所：理工学部1号館前駐輪場 総点検数：89台

開催目的

- ① 正しい交通ルールやマナー、点検・管理方法を知ってもらい、整備されていない状態の自転車を減らす。
- ② 弘前市内の危険な道路を知ってもらい、移動に際しての危機意識を高めてもらう。
- ③ 共済の具体的な給付事例や使い方を知ってもらい、正しく共済を活用できるようになってもらう。
- ④ 学生賠償責任保険について知ってもらう。



自転車業者(2名)の方に来ていただきました。



当日朝の準備時は雨が降り企画開催が難しいかなと思いましたが、準備終了時には雨が止み天気恵まれ、点検・修理を行うことができました。

点検に来ていただいた組合員の方にアンケートを実施したところ、『点検を待っている間に、クイズなどで交通の知識をつけながら待つことができよかった』という声をいただきました。

この企画を通して、自分の自転車を点検・修理するだけでなく、交通安全について興味を持っていただけるように努めて参ります。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 鳥谷部晴

学生総合共済からのお知らせ

5月のお支払い状況

病気入院	1件
病気手術	1件
事故入院	4件
事故手術	1件
事故通院	17件
死亡	1件
計	25件

お支払い金額

3,004,000円

たすけあいアンケートより

「わかりやすく、親切丁寧に説明してくださり、安心感を得ました。遠慮せず共済を利用した方が いいと思います。必ず親切にしてくださる大人(職員)がいるので安心です。」

(日常生活上の事故 自宅で料理中にやけど。)

通院1日 共済金2,000円

*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。



植樹祭に参加しました。(主催：青森県生活協同組合連合会)

開催日時：6月18日(日) 10:00~12:00

場所：青森県十和田市仙人平(生協ふれあいの森) 人数：37名(弘前大学生協からの参加人数)



植樹体験では、ペアの人と仲良く苗を植え、森林散策では時折声をあげながら楽しんでいました。植樹祭に参加してみて、自然や自らの生活について考える機会はとても大事なものだと思いました。私たちが知らない環境問題を知ることはもちろん、普段目にするリサイクル活動がどんな良い効果をもたらしているかを知ること、今後環境を意識しながら生活するための良いきっかけになったと思います。今後も体験活動への参加や関連情報の周知を通じて環境への意識を多くの人に伝えていきます。

生協学生委員会 人文社会科学部2年 小畑真冴勝

編集後記



弘前大学生協が今年で創立60周年ということで、弘大/弘大生協の「大好きなところ」と、昔(過去)の弘大/弘大生協の「大好きなところ」に関する写真とコメント・エピソードを募集しています。それと並行して生協で保管していたデータを整理したり探し出したりし、SNSで紹介する取り組みもしていました。現在の職員が学生だった時の写真や、若かりし頃の写真があったり、今とちょっと?違う店舗の様子も見られて興味深いです。その時々組合員の方が必要なモノ、サービス等に応じて扱う内容にも変化はありましたが、創立当時の刊行物を見ると、思いは変わっていないことがわかります。大学生協は出資金を出し合い加入し、協同で運営・利用する組織です。ぜひ皆さんの声を聞かせてください。(SHIMO)